



由利本荘市立岩城中学校 校報

いわき



第31号 2025. 11. 28 (金)

小中合同PTA・地域学校運営協議会 「超神ネイガー」特別講演会

25日(火)に小中合同PTA・地域学校運営協議会主催による講演会を行いました。この事業は、教育公務員弘済会秋田支部の助成を受けて行なったものです。当日は、小学校5・6年児童と中学校全校生徒、保護者、地域学校運営協議会委員が参加しました。

超神ネイガー共同原作者の****氏をお招きし、「ネイガー誕生の秘話と地域への思い」をテーマに、ご当地ヒーロー「超神ネイガー」を幼馴染の****氏と共に作った時のお話のほか、今年で活動20年目を迎えるまでの苦労や地域に対する思いについて講演していただきました。

「秋田が元気になる活動をやっていきいたい。」という熱い思いや「本気でやると、意外と何でもできる。」というメッセージが込められた話に子どもたちは深く興味をもち、真剣に聞いていました。また、誰もがネイガーのことを知っているということもあり、親しみやすく、あっという間に時間が過ぎたようでした。講演後はネイガーショーの時間も設けられ、そこには見覚えのある「ホジナシ怪人」が。。。インタビューやネイガーへの質問もあり、子どもたちにとって、多くの学びがあり、そして、とても楽しい時間となりました。



1年A組 **** さん

今日のお話で、あきらめなければいいことがあるということを学んだ。ネイガーをつくった人たちは、小さい頃の仮面ライダーごっこから始まり、今はご当地ヒーローまでのぼりつめていてすごいと思った。だから、ネイガーをつくった人たちのように、自分もやりたいこと、なりたい自分が見つかったら、あきらめずに挑戦していこうと思う。

2年A組 **** さん

話を聞いて友達を大事にすることや小さな努力を積み重ねることが大切だと知った。また、秋田の自然や文化を大切に守っていきいたいと思った。秋田はいいところが多いと思っていたけど、ネイガーや****さんの話を聞いて、意外と秋田にもいいところがあると感じた。****さんのように小さなことでも少しずつ大きくしていけたらいいと思う。何事にもあきらめずに挑戦していくことが大切だと思った。

3年A組 **** さん

今日は、久しぶりにネイガーに会えてうれしかった。ネイガーが「友達を大事に」、「今の生活を大事に」とアドバイスしてくれたので、その言葉をしっかりと受け止めて生活していきたい。ネイガーができるまで、様々な苦労があり大変だったんだと思った。今日は、話を聞くことができてよかった。

後期中間テスト

25日(火)、26日(水)に後期中間テストを実施しました。インフルエンザの流行による臨時休校のため、予定より1週間遅れての実施となりました。

今回のテストでは、これまでのテストの結果から、不得意教科にきちんと向き合っている生徒もいます。放課後に教室で自習し、真剣に問題に取り組む3年生の姿が見られるようになりました。わからない問題から逃げずに取り組み、積極的に質問する生徒もいます。力をつけるために具体的に行動を起こす生徒が増えてきており、うれしく思います。受験を控えた3年生に限らず、まだ具体的な取組ができていない生徒は、今回のテストをそのきっかけにしてほしいと思います。自分の苦手を見つけ、それを克服するために活用してこそテストを受けた意味があると思います。「わからないことがわかった」「できなかったことができるようになった」ということを体感することは、自信につながり、学力向上への確かな手応えになります。また、



苦手を克服するためには、多くの時間と労力が必要になります。今の自分を越えていくためには、行動をおこすしかありません。今年度の定期テストはあと1回

(1、2年の2/16後期期末テスト)です。